

## 子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出(追加資料)

「量の見込み」にあたっては、アンケート調査結果を活用し、以下の流れで算出していきます。

**ステップ1**

アンケート回答者を両親の就労状況でタイプ分類します。  
(家庭類型といいます。)

**ポイント1**

例えば、

- ・両親ともフルタイムで共働き
- ・父親フルタイムで母親パートタイム

など8つの家庭類型があります。

**ステップ2**

さらに、両親の今後(1年以内)の就労意向でタイプ分類します。(潜在家庭類型といいます)

**ポイント2**

市民ニーズに対応できるよう、今回の制度では、潜在家庭類型でアンケート回答者の保育・教育のニーズを把握することがポイントです。

**ステップ3**

将来(平成27年~平成31年の各年)の児童数を推計します。

「将来児童数×潜在家庭類型(構成割合)」で潜在家庭類型別の将来児童数を算出します。

**ポイント3**

たとえば、病児病後児保育事業や学童クラブ等は保育を必要とする家庭に限定されています。

**ステップ4**

該当事業・サービス別に利用できる家庭類型等が決まってくるので、「ステップ3」を踏まえ該当事業・サービス別の対象となる児童数を算出します。

**ポイント4**

本当に利用したい真のニーズの見極めが重要です。

**ステップ5**

該当事業・サービス別に回答者数を母数として、利用希望者数で“利用意向率”(該当事業・サービス別の利用希望者数/回答者数)を算出します。

**ポイント5**

将来児童数をかけあわせることで、平成27年から平成31年まで各年ごとのニーズ量が算出されます。

**ステップ6**

「該当事業・サービス別の対象となる児童数×利用意向率=ニーズ量」が算出されます。